

2023年度
事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講座
アドバンストコース



メンタルヘルス不調への対応と 休職・復職の実務



～使用者の「法的義務」の観点からのアプローチ～

使用者側で人事労務を扱う弁護士の立場から、メンタルヘルス不調を抱える従業員への対応（予防と配慮）や休職・復職にまつわる実務対応について、労働法上の「安全配慮」「職場環境配慮」「障がい者に対する合理的配慮」といった使用者の「義務」をキーワードに解説。その上で、事例検討を通じて参加者の皆様と具体的な対応方法を議論します。皆様の日頃の実務において視野が広がる契機となれればと考えております。

講師

菰口 高志先生

（大江橋法律事務所 弁護士）



＜講師プロフィール＞

2007年東京大学法学部を卒業、2010年早稲田大学大学院法務研究科を修了。

2012年大江橋法律事務所入所。留学中には2018年デューク大学ロースクール（米国）を卒業後、

2019年までWinston & Strawn LLP, New York Officeに勤務。2019年ニューヨーク州弁護士登録。

これまで、使用者側で人事労務に関する案件・相談に多くの経験を有し、上場・非上場を問わず、多様な業種の案件を担当。個別的労使紛争（企業と労働者間）集団的労使紛争（企業と労働組合間）への関与も多い。また、産業保健の分野にも注力しており、日本産業保健法学会では、学術大会での登壇や執筆のほか、「職場における健康情報の取扱いに関する法的課題検討委員会」の副委員長等を務める。

日時

2024年3月9日（土）

13:30～16:30

会場

新大阪丸ビル別館
3-5号室

〒533-0033
大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-22



定員
30名

裏面の【お申込み方法】をご参照の上、
お早めにお申し込みください。

主催：関西福祉科学大学EAP研究所

後援：エムスリーヘルスデザイン株式会社、株式会社マイシエルパ、日本EAP協会